

2026 年 1 月 15 日
一般財団法人 日本気象協会

2026 年 春の花粉飛散予測(第 3 報) ～まもなく花粉シーズン 暖かい日は要注意 飛散のピークは 2 月下旬から～

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊 一洋)は、2026 年春の花粉飛散予測(第 3 報)を 2026 年 1 月 15 日(木)に発表します。詳細情報は「2026 年春の花粉飛散予測資料(第 3 回)」として販売します。

また、日本気象協会と ALiNK インターネットが運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじえーぴー)』花粉飛散情報ページ(<https://tenki.jp/pollen/>)にて、今日の花粉飛散情報や 1 週間先までの花粉予測を同日より無料で提供開始します。

■ 2026 年春の花粉飛散予測(第 3 報)[一部抜粋] ＜スギ花粉の飛散開始時期＞

スギ花粉は 2 月上旬に九州や東海などで飛散開始(※1)となるでしょう。九州から関東の広い範囲では 2 月中旬、北陸から東北は 2 月下旬から 3 月中旬の見込みです。この先、2 月にかけての気温は平年(※2)並みか高く、寒暖の変動が大きいでしょう。暖かい日には花粉がわずかに飛び始める見込みです。飛散開始は、ほぼ例年(※3)並みですが、東北では 3 月の気温が高い予想で、例年より早い所もあるでしょう。

＜ピーク時期＞

スギ花粉の飛散ピーク(※4)は、早い所では 2 月下旬からとなるでしょう。広い範囲でピークとなるのは 3 月上旬から中旬の見込みです。ヒノキ花粉のピークは 3 月下旬から 4 月上旬でしょう。ピークの時期は、スギ、ヒノキとも例年並みの見込みです。

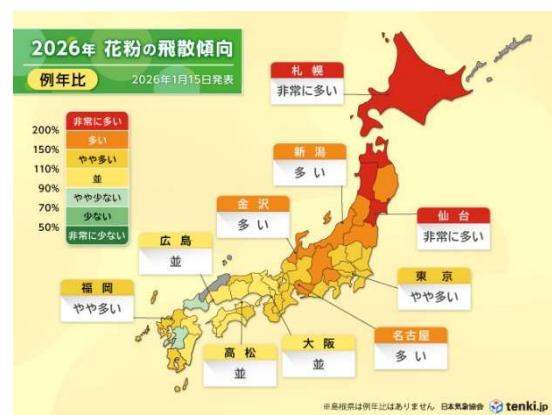
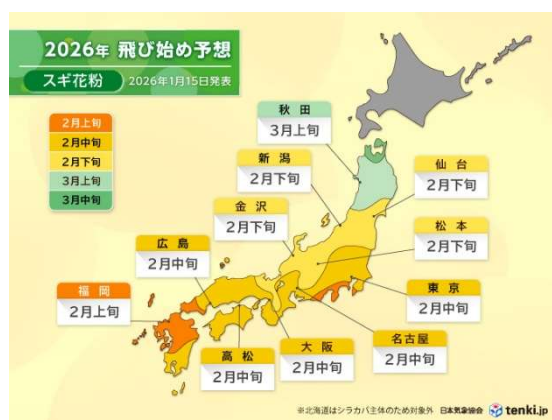
＜飛散量予測＞

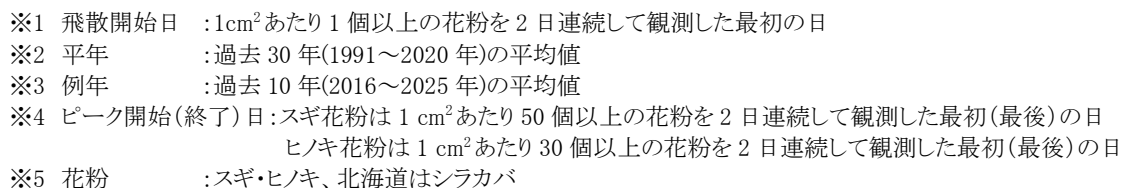
2026 年春の花粉(※5)飛散量は、西日本では例年並みの所が多いでしょう。一方、東日本と北日本では例年より多く、非常に多い所もある見込みです。

2025 年夏は、全国的に高温・多照で、雄花が形成されやすい気象条件となりました。一方、2025 年春(前シーズン)の花粉飛散量は、西日本では例年より多く、東日本と北日本では少ない傾向でした。

飛散量が多い翌年は雄花の形成が抑えられるため、2026 年春の花粉飛散量は前シーズンと比べ、西日本では広い範囲で減少するでしょう。東日本と北日本は前シーズンより多く、非常に多い所もある見込みです。

今回発表する花粉の飛散量予測は、2025 年 12 月 2 日に発表した「日本気象協会 2026 年 春の花粉飛散予測(第 2 報)」の内容を更新しています。日本気象協会が 12 月に実施したスギ雄花花芽調査や、環境省が発表したスギ雄花花芽調査結果をもとに、四国から東北の予測を一部修正しました。





◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

花粉症対策市場における商品の需要予測や販売計画、プロモーション計画などにご活用ください。

- ・都道府県別の花粉飛散量(例年比・前シーズン比)
- ・スギ花粉の飛散開始時期
- ・花粉飛散のピーク時期
- ・予測根拠

- ・週単位・都道府県別の花粉飛散量予測
- ・飛散量予測と独自モデルを利用した花粉対策商材(医薬品・マスク等)の需要予測
- ・売上要因分析レポートの作成
- ・ミーティング等によるデータ利活用支援のコンサルティング

TEL:03-5958-8154 FAX:03-5958-8203 メールアドレス ecologi_sales@jwa.or.jp まで